

阿木城だより

阿木城跡保存会

阿木公民館内

2019年2月発行 NO3

<消えた領主、遠山安木氏>

鎌倉期以降、遠山氏は今の中津川市、恵那市を中心とする「遠山荘」の地頭として、岩村を拠点に領地を治めました。

南北朝期（1331年～1392年）になると遠山氏は「遠山荘」の各地に多くの分家を作りました。史料には1400年代に室町幕府の奉公衆＝直属軍として仕えた武将として、遠山安木、遠山岩村、遠山明智、遠山櫛原、遠山馬籠などの名が残されています。



注目するのは遠山一族がまとまって幕府に仕えたのではなく、それぞれが独立し、将軍と主従関係を結んでいることです。独立しているということは、阿木城が遠山一族の力を結集して築城されたとか、遠山岩村氏の岩村城を守る出城あるいは子城とは考えられないということです。

奉公衆の中には「遠山安木孫太郎」の名前があり、阿木の領主とみられます。しかし、織田信長と武田信玄・勝頼の両軍がこの地で戦った戦国末期あたりになると、「遠山安木」氏の名前が全く出てきません。

前回号で「阿木城の城主は戸田甚左衛門、戸田は城主ではあるが領主ではない」と書きましたが、なぜか領主のはずの「遠山安木」氏の伝承がありません。どこかで消えてしまっています。

<信長軍の岩村城包囲網と阿木城>

織田信長軍は天正3年（1574年）5月に長篠の戦いで武田軍に壊滅的打撃を与えると、翌6月には、武田軍が拠点としている岩村城を攻めるため出陣します。

岩村城攻めでは水晶山に本陣を構えました。最近の調査で遺構が確認されています。

そして、信濃（長野県）三河（愛知県東部）を結ぶ街道沿いに付城を置いて、武器食糧などを岩村城に運び込ませないよう、荒いながらも広範囲に包囲して兵糧攻めにしたのです。

包囲に使われた城は以下のようになります。

木曾方面対策	阿木城、阿寺城（手賀野）——川上（かおれ）や根の上越えを防ぐ
信濃・稲武方面対策	^{ぜんだ} 前田砦、漆原城、小田子城（いずれも上矢作町）
西三河方面対策	明知城、串原城、（大平城＝串原、柿畑城もか？）
^{こうの} 神籠（瑞浪）方面対策	^{のぶ} 信の城（飯羽間）、下手向城（山岡町）、棕実城（三郷）

こうした城の配置を見ると、織田方は岩村城を攻めるにあたって、前年勝頼軍の侵攻によって武田方に従った周辺の土豪を改めて味方に引き入れ、岩村城を孤立させることに成功していたと思われます。



< 武田軍と岩村城 >

遠山岩村氏は武田信玄軍と長い間、従属関係を一貫して保っていたことが、以下の動きから分かります。



天文 23 年 (1554 年)	武田信玄に従属
弘治元年 (1555 年) 頃	岩村に武田信玄軍が駐留
永禄 6 年 (1563 年)	信玄、久々利に兵糧を送るため人夫を遠山領内で集める
永禄 8 年 (1565 年)	武田軍の一翼として神篋 (瑞浪市) で織田方と戦う
永禄 11 年 (1568 年)	武田氏の駿河攻めに従軍
元亀 3 年 (1572 年)	上村合戦 (上矢作) = 武田・岩村軍 × 周辺土豪・織田・三河軍
元亀 4 年 (= 天正元年)	秋山虎繁、城代として入城
天正 3 年 (1575 年)	岩村城攻防戦 = 武田・岩村軍 × 織田・周辺土豪軍

最新の研究では、岩村城主遠山氏は自発的に武田氏に従属していたことが分かりました。

一方阿木など周辺土豪は、武田氏が 1500 年代中頃に東美濃に勢力を伸ばしてくるとそれに従い、元亀 3 年 (1571 年) には織田氏の側について上村合戦に参加し、天正 2 年 (1573 年) に武田勝頼の侵攻を受けるとそちらに下り、天正 3 年 (1574 年) の岩村城攻防戦では、織田軍は岩村城包囲のために阿木城などを活用していることから織田軍の勢力下にあったと思われます。

< 後 記 >

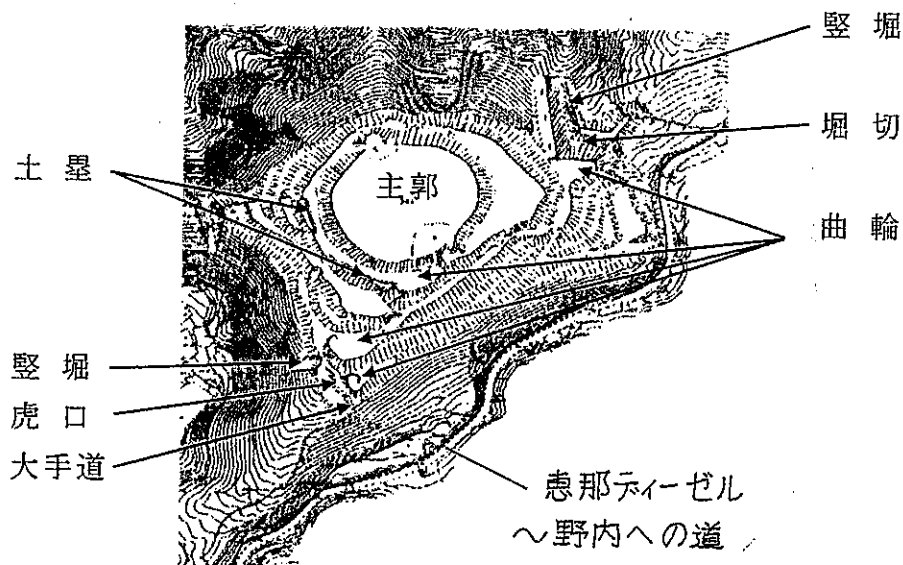
今回号は前回に続き、昨年「阿木公民館講座」で講演していただいた三宅唯美先生の講演報告です。一部加筆しました。

発行にあたり、三宅先生には今回も甘えてご好意で監修をお願いしています。

まとめると、阿木城は

- ① 450 年ほど前の戦国末期に、織田か武田のどちらかの勢力によって築城された
- ② 城主は戸田甚左衛門、領主とは別の人
- ③ 織田軍が岩村城を攻めたさい、包囲に利用した
- ④ 武田軍の敗北・撤退にともなって役割を終えた
- ⑤ 築城から廃城まで長くて 5 年間
- ⑥ 岩村城の出城・子城ではない ということです。

= 「阿木城の縄張り図」 = (高田徹氏作図に記入)



2017年発行「阿木の文化遺産」より

三宅先生は信頼性のきわめて高い史料のみ使い、最新の調査研究の成果に基づいて講演をして下さり、たいへんいい勉強になりました。